



令和8年 熊本地震に関する九州地方整備局の活動状況



～ 被災地に寄り添い、現場力を結集した復旧・復興への取り組み ～



九州地方整備局
令和8年8月27日

【目 次】

1. 令和8年熊本地震の概要

2. 地震発生後の初動体制、緊急調査

(TEC-FORCEによる被災状況調査・自治体支援、リエゾン派遣、防災ヘリによる調査等)

3. 被災状況・応急復旧等 (道路、河川、砂防、港湾、官庁施設)

4. 被災地・自治体支援

(照明車・防災用コンテナ型トイレ派遣、給水車による給水支援等)

5. 建設業界の活躍

6. SNS等による情報発信

7. 金子国土交通大臣による視察

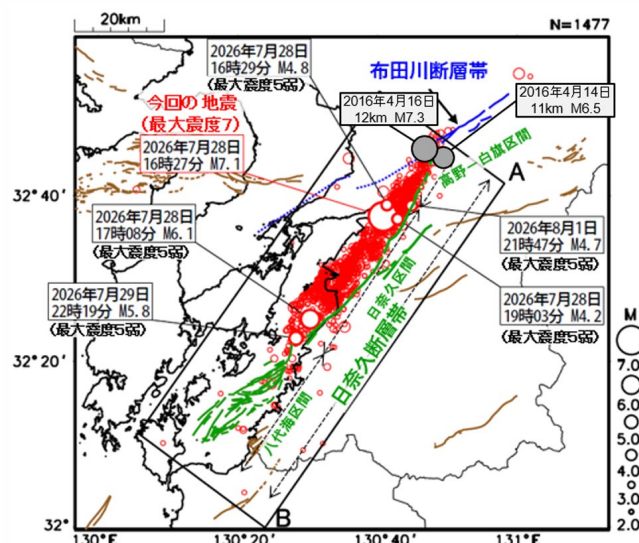
1.令和8年熊本地震の概要

- 令和8年7月28日、16時27分頃、熊本県熊本地方でマグニチュード7.1(暫定値)の地震が発生。熊本県宇城市及び氷川町で震度7を観測。
- 今回の地震発生以降、8月5日12時00分現在、この地震による地震活動域で、震度1以上を観測した地震が536回発生(震度7:1回、震度5弱:5回、震度4:19回、震度3:54回、震度2:140回、震度1:317回)

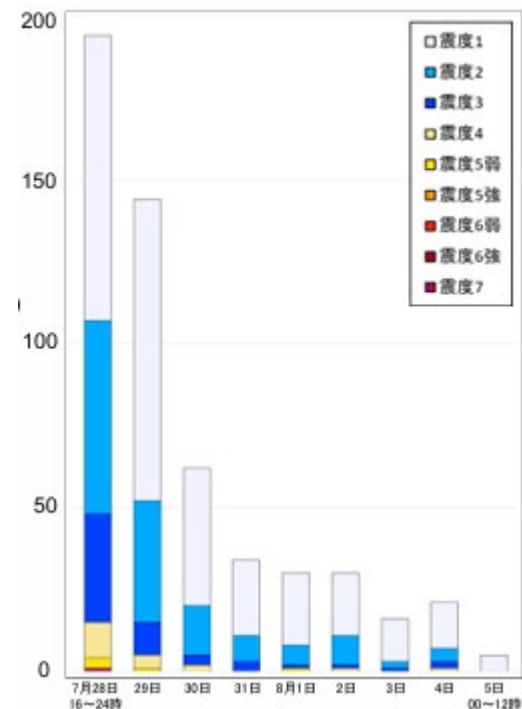
■震度分布図



■震央分布図



■震度1以上の地震回数グラフ (回) (8月5日 12時現在)



■震度1以上の地震回数 (8月5日 12時現在)

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
回数	317	140	54	19	5	0	0	0	1	536

※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがあります。

▲ 気象庁HP(202607281627_jishingaiyou.pdf)より

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（TEC-FORCE、リエゾン派遣）

- 7月28日16時27分頃に地震が発生後、同時刻に災害対策本部を立ち上げ、非常体制を発令。
- 一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、7月28日から熊本県庁、八代市、宇城市、宇土市、上天草市、天草市、氷川町、甲佐町などに「TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）」及び「リエゾン」を派遣。



2.地震発生後の初動体制、緊急調査（全国初TEC-FORCE予備隊派遣）

- 7月28日、熊本県宇城市、氷川町における震度7の地震発生により、熊本県で甚大な被害が発生。
- 7月30日から全国初の「TEC-FORCE予備隊」を、被災地に派遣し、被害を受けたインフラ等の調査を開始。

※「TEC-FORCE予備隊員」とは、災害対応に係る専門的な知識・経験を有する方が、災害時に非常勤職員の国家公務員としてTEC-FORCEの一員となり被災地等で活動する仕組み。

X投稿



▲ 八代市役所で調査個所の打合せ



▲ 松本橋(氷川町)の被災状況調査



▲ 被災状況調査



▲ 現地で復旧に向けた技術的助言

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（防災ヘリによる調査）

○ 7月28日から防災ヘリコプター「はるかぜ(九州地整)」 「愛らんど(四国地整)」 「きんき(近畿地整)」 「おりづる(中国地整)」 による道路、橋梁、堤防、港湾などの被災状況の上空調査を10回以上実施。被災した自治体にリアルタイムで情報を提供。



▲ 路面ずれ(九州自動車道八代IC付近)



▲ 球磨川堤防ひび割れ



▲ 橋桁ずれ(九州自動車道八代JCT付近)



▲ 被災状況を各自治体に迅速に提供

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（ドローン調査）

○8月4日、甲佐町の要請に基づき、土砂崩落箇所に九州地方整備局のドローン調査班、通称BlueHawksを派遣し、被災状況調査を実施。調査映像および点群データを用いた3Dデータを甲佐町に迅速に提供。



2.地震発生後の初動体制、緊急調査（全国各地から支援）

○ 全国各地の整備局からTEC-FORCEが集結。全国一丸となり、調査や支援に協力。



△九州派遣に向けた出発式



△ 全国のTEC-FORCE隊による給水支援活動



△複数地整を集めての調整会議



△ 他地整から派遣の防災ヘリコプター

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（TEC-FORCE活動状況）

○全国から国土交通省TEC-FORCEが集結し、被災状況調査や、給水・トイレ及び電源支援等の災害対策機械による
応急対策の技術支援を実施。

○令和8年8月27日時点で、6市4町を中心に他のべ約4,900人・日で活動を展開(リエゾン等含む)

被災状況調査

▼ヘリによる上空からの被災状況調査及び映像の提供



宇城市

▼橋梁の被災状況調査



宇城市

▼デジタル機器を用いた被災状況調査



氷川町

▼岸壁背後の被災状況調査



八代港

▼ドローンによる被災状況調査



甲佐町

▼TEC-FORCE出発式(8/18)



【宇土市】

- ・被災状況調査(河川)
- ・給水支援

【宇城市】

- ・被災状況調査(河川・道路)
- ・給水支援
- ・船舶による支援物資輸送及び給水・入浴・洗濯支援(三角港)

▼調査報告書の手交、説明(8/20)



氷川町

【氷川町】

- ・被災状況調査(河川)
- ・給水支援、電源支援

天草市

【上天草市】

- ・被災状況調査(港湾)

【上天草市】

- ・被災状況調査(港湾)

【熊本県】

- ・現地災害対策本部(連絡調整等)
- ・被災地上空調査
- ・機械操作、映像撮影、情報通信
- ・JETT等の派遣 等

【熊本市】

- ・被災状況調査(熊本城公園)
- ・給水支援

【嘉島町】

- ・照明車支援
- ・給水支援

【甲佐町】

- ・被災状況調査(道路、のり面)
- ・応急対策班

【美里町】

- ・電源支援
- ・被災状況調査(道路)

【八代市】

- ・被災状況調査(港湾・河川・道路)
- ・給水支援
- ・船舶による支援物資輸送及び給水・入浴・洗濯支援(八代港)

被災者支援

▼照明車による人命救助活動の支援



▼断水発生による給水支援



宇城市

▼防災用コンテナ型トイレの派遣



宇城市

氷川町

▼ボランティアセンターへ対策本部車を提供



氷川町

▼電力復旧までの電源支援



令和8年8月27日現在:のべ約4,900人・日

2.地震発生後の初動体制、緊急調査（TEC-FORCEによる報告）

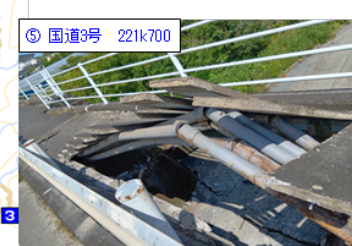
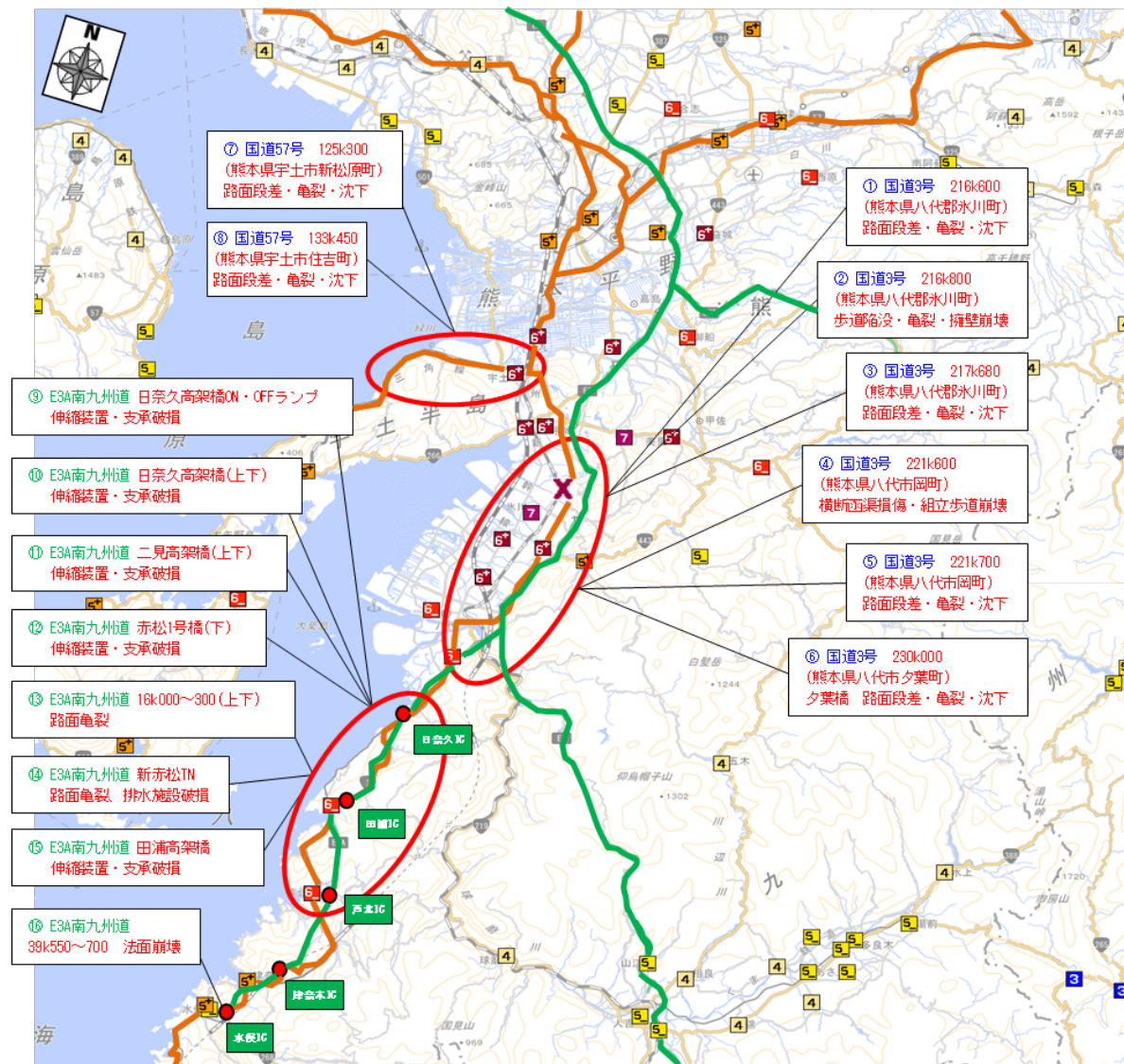
- 地震発生から1週間、八代市・宇城市・宇土市・上天草市・天草市・氷川町・甲佐町へ河川や道路、港湾の被災状況調査の結果を報告。



3.被災状況・応急復旧等（道路）

○震源に近い、八代市・氷川町に被害が集中し、直轄国道では、16箇所の大い被害を確認。
（国道3号6件・国道57号2件・E3A南九州道8件）

【広域図】

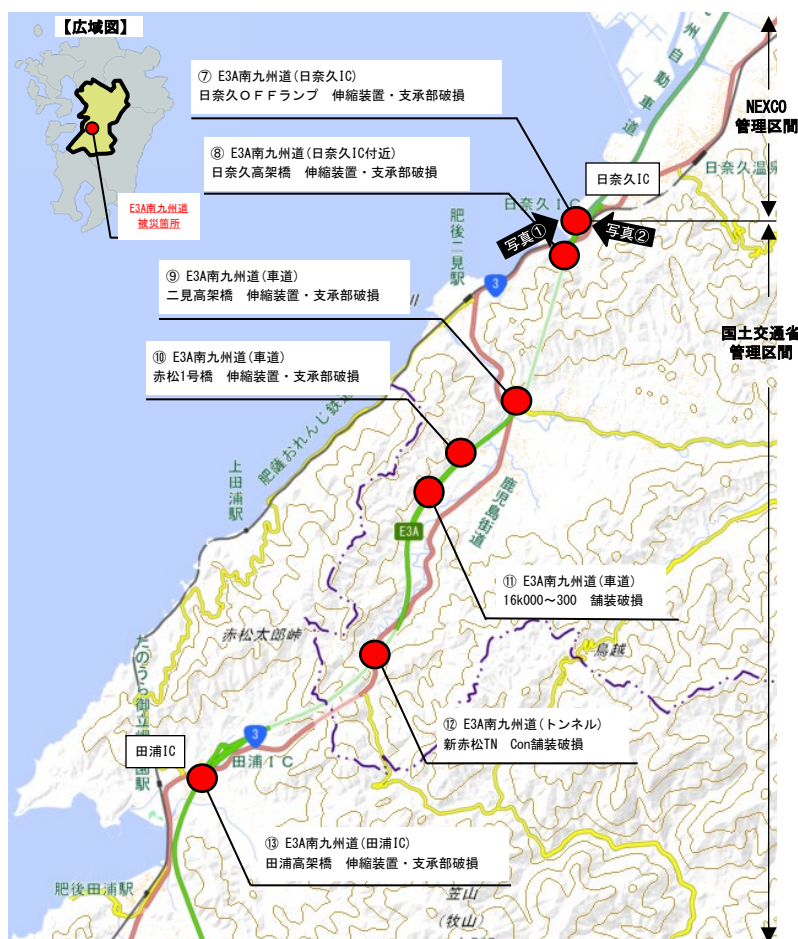


3.被災状況・応急復旧等（道路）

○南九州西回り自動車道(日奈久IC～水俣IC)において、高架橋の伸縮装置・支承部の損傷、法面崩壊、舗装版の亀裂及び 浮き上がりを確認。

○田浦IC～水俣IC間は、7/29には一般車両通行可能とし交通開放。

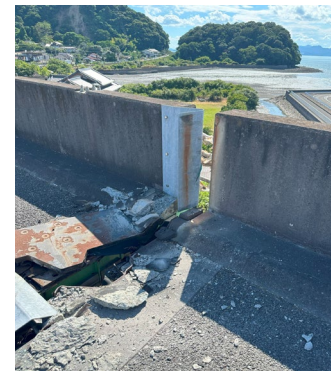
○日奈久IC～田浦IC間は、7/30より緊急車両の通行を開始し、8/18に一般車両通行可能とし通行止めを解除。



①被災状況（伸縮装置破損）



②被災状況（支承部破損）



3.被災状況・応急復旧等（道路）

対応状況：南九道（日奈久IC～田浦IC）



日奈久
IC

田浦IC

芦北IC

津奈木
IC

水俣IC

7/30 緊急車両のみ通行解放

8/18 一般車両通行解放

7/30 通行解放

発災直後

対策工事状況

対策工事完了

〈TEC Doctor〉



〈対策本部車〉



〈緊急車両通行〉



〈ジョイント部 損傷〉



〈ジョイント部 応急復旧〉



〈ジョイント部 応急復旧完了〉



〈舗装沈下〉



〈沈下 応急復旧〉



〈沈下 応急復旧完了〉



〈通信ケーブル破損〉



〈夜間作業〉



〈橋梁点検車〉



3.被災状況・応急復旧等（道路）

- 国道3号(八代郡氷川町～八代市夕葉町)において、舗装版の段差・亀裂及び浮き上がり、横断暗渠の破損、組立歩道の崩壊を確認。
- 被災翌日の7/29には一般車両通行可能とし、8/4より「国道3号ピンポイント路面改善作戦」として舗装補修工事を実施。

①被災状況（路面亀裂）



②被災状況（路面段差）



③被災状況（横断函渠破損・組立歩道崩壊）



④被災状況（路面段差・亀裂）

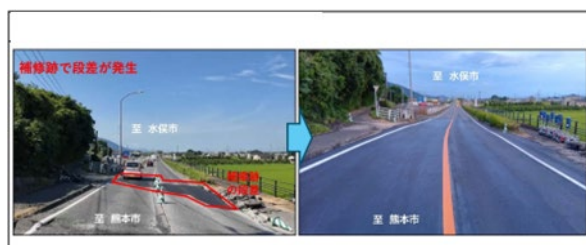


国道3号ピンポイント路面改善作戦状況

第1弾 ・車道部の補修工事
・期間:8月4日～8月8日
・8月8日完了

補修前

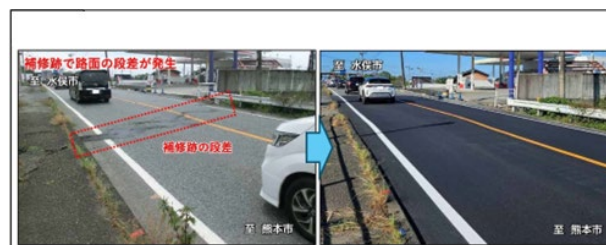
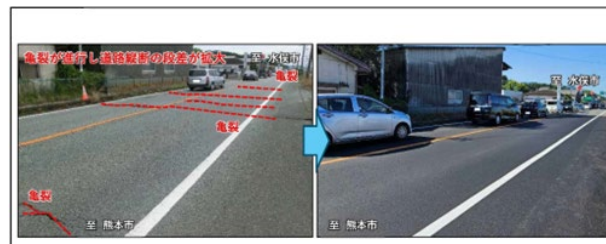
補修後



第2弾 ・車道部の補修工事
・期間:8月10日～8月15日
・8月15日完了

補修前

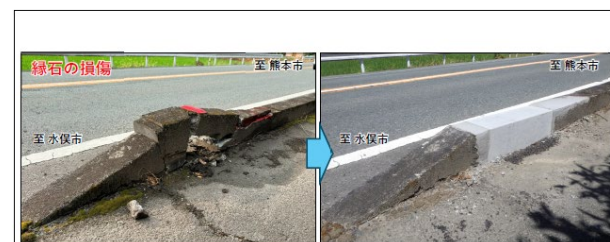
補修後



第3弾 ・歩道部の補修工事
・期間:8月19日～8月27日
・8月27日完了

補修前

補修後

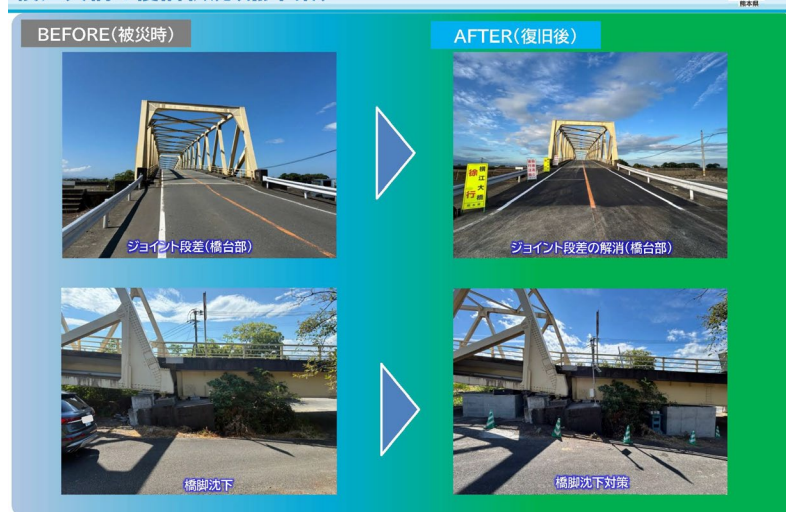


3.被災状況・応急復旧等（道路）

○8月17日に県道338号横江大橋が通行可能となったことにより、宇城～八代間を結ぶ主要幹線道路において、地震発災から20日ぶりに4路線（九州自動車道、国道3号、県道14号、県道338号）が全て通行可能となった。



横江大橋の復旧状況（熊本県）



新荻原橋の復旧状況（熊本県）



3.被災状況・応急復旧等（道路）

- 熊本県域の行政機関や高速道路会社等の道路管理者等で構成する「熊本県 災害時交通マネジメント検討会」を設置し、被災状況の情報共有や今後の対応について意見交換を実施。
- 通行止めしていた九州自動車道等の復旧見通しをお知らせするため、現地に案内看板を設置。
- 八代JCT～八代南ICの通行止めが継続されることから、交通の分散を図るため、迂回路案内を実施。

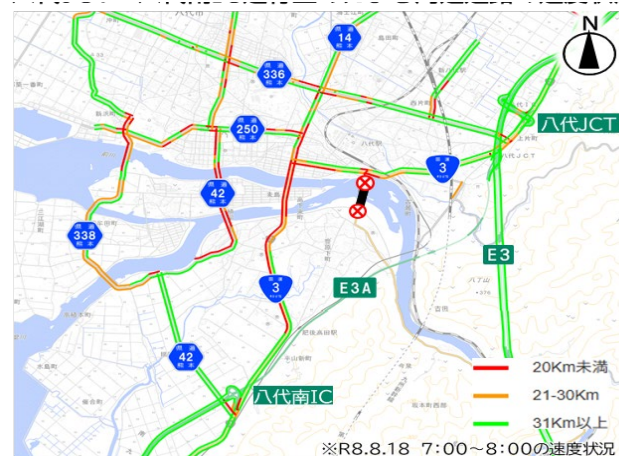
道路復旧見える化プロジェクト



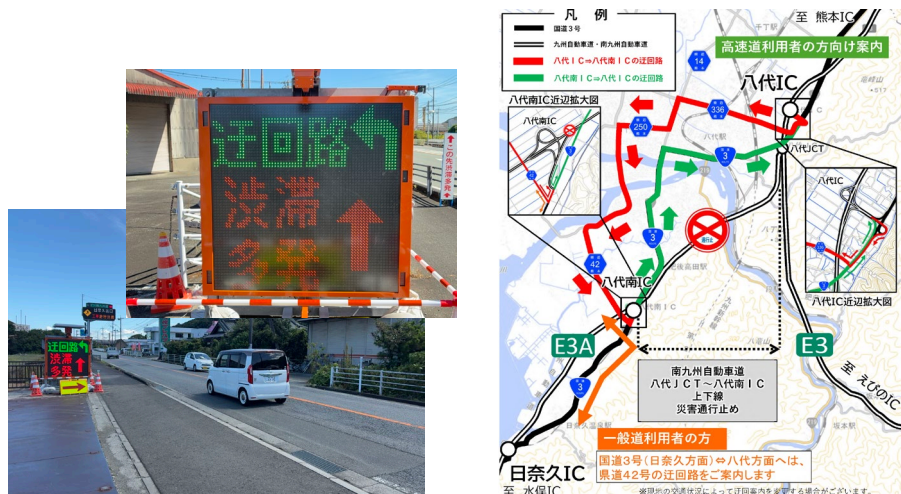
▲県道338号横江大橋の設置状況



▲国道3号の設置状況



▲八代JCT～八代南IC通行止めによる周辺道路の速度状況



▲迂回路案内の強化

▲通行止めによる迂回路のご案内
(九州地方整備局・NEXCO西日本)

3.被災状況・応急復旧等（河川）

- 発災後、堤防等の緊急点検を実施し、球磨川では河川堤防等44箇所の変状を確認。
- 44箇所の変状のうち、緊急的な復旧工事が必要な3箇所を確認。

【河川管理施設変状状況】
球磨川水系 44箇所

「令和8年熊本地震」 球磨川堤防等緊急点検結果
(八代河川国道事務所管内 8月2日時点)



【直轄河川における被害状況】

河川名	変状箇所
球磨川	44箇所
白川	3箇所
緑川	44箇所
合計	91箇所

3.被災状況・応急復旧等（河川）

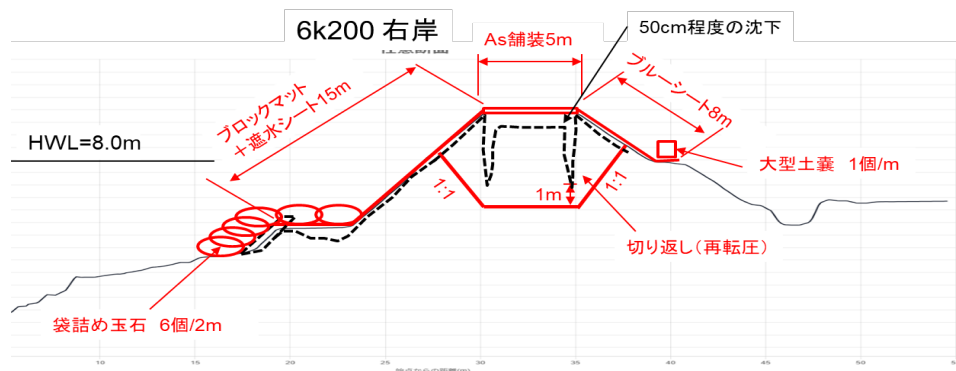
- 河川堤防の変状が確認された球磨川において、7月29日に緊急復旧工事に着手。
なお、復旧にあたっては、専門家(国土技術政策総合研究所等)による技術指導を踏まえ実施。



▲ 専門家（国総研・土研）による調査（球磨川6k200付近）



▲ 専門家（国総研・土研）による調査結果の報告



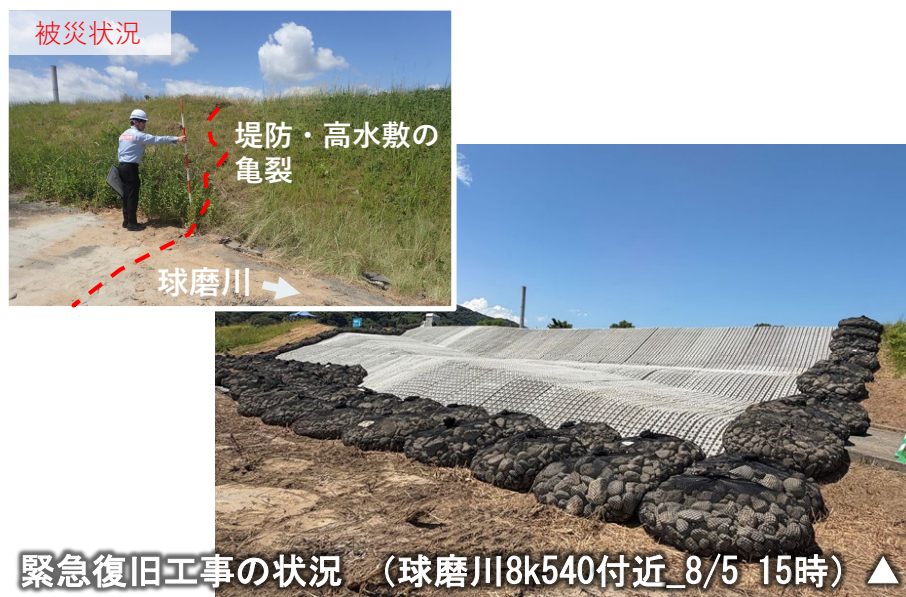
△ 緊急復旧工法（球磨川6k200付近）



▲ 緊急復旧工事に着手（球磨川6k200付近）

3.被災状況・応急復旧等（河川）

○ 7月29日から着手した球磨川の緊急復旧工事について、8月7日に全ての工事が完了。



3.被災状況・応急復旧等（砂防）

○ 7月29日から防災ヘリにて土砂災害状況の上空調査を実施。調査結果を熊本県及び長崎県に情報提供。



▲ 防災ヘリにて土砂災害調査を実施



▲ 一部崩落により砂煙が発生（雲仙普賢岳）

「溶岩ドーム崩壊危険度判定臨時分科会」の結果

- ・現時点では、大きな崩落につながる兆候はみられていない
- ・今後の降雨により下流の保全家屋等に影響が出る可能性は低い



▲ 防災ヘリによる空中からの調査（芦北町）



▲ 防災ヘリによる空中からの調査（島原市）

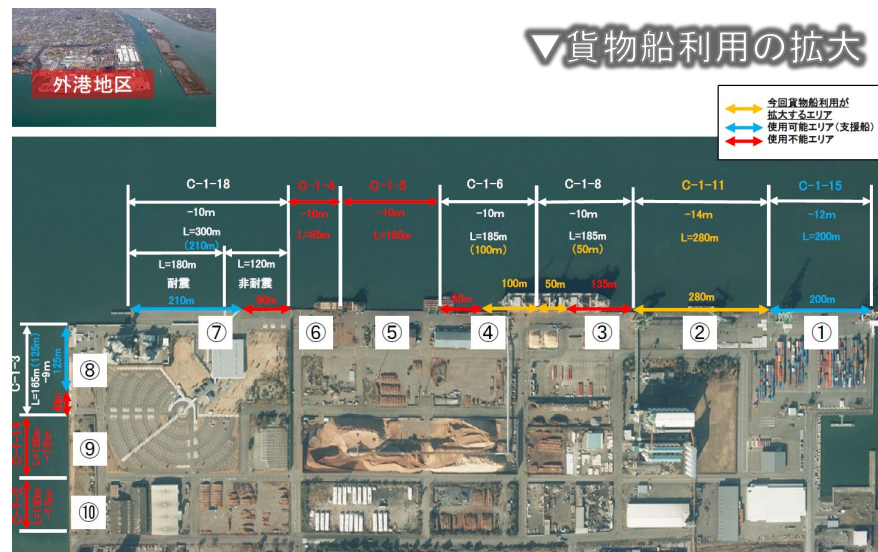
3.被災状況調査・応急復旧等（港湾）

○ 7月29日から、専門家(国土技術政策総合研究所、港湾空港技術研究所)と連携し、被災した八代港の岸壁の使用可否判定と応急復旧を迅速に実施。その結果、地震発生の日から支援船の入港が実現した。



3.被災状況調査・応急復旧等（港湾）

○ 8月12日から、詳細調査の結果を受けた国土技術政策総合研究所、港湾空港技術研究所を中心とした専門的検討及び応急復旧工事により、貨物船利用のさらなる拡大が可能となった。



3.被災状況・応急復旧等（官庁施設）

○ 7月28日から被災した官庁施設の被災状況を調査するため、職員を派遣。被害のあった庁舎について、応急復旧方法の助言等、施設管理者に対する技術支援を実施。



4.被災地・自治体支援（照明車・給水車・対策本部車派遣）

- 全国各地から、災害対策車（照明車、給水車、対策本部車等）延べ52台が稼働。（九州地整28台、他地整24台 令和8年8月19日現在）
- 7月30日、懸命な救助活動が続く「イオンモール熊本」へ、九州地方整備局の照明車を5台派遣し、夜間救助活動を支援。



4.被災地・自治体支援（給水支援、入浴支援）

○日本水道協会、自衛隊等による給水活動と調整、避難所・医療機関、福祉施設などの重要施設の給水ニーズを把握。最大で214台※の給水車をはじめ、水資源機構による可搬式浄水設備の設置等による応急給水の量や頻度を向上。（※8月19日時点では129台）

○九州地方整備局の船舶「海輝(かいき)」「海煌(かいこう)」による給水支援のほか、北陸地方整備局「白山」、中部地方整備局「清龍丸」による給水支援、入浴支援等を実施。



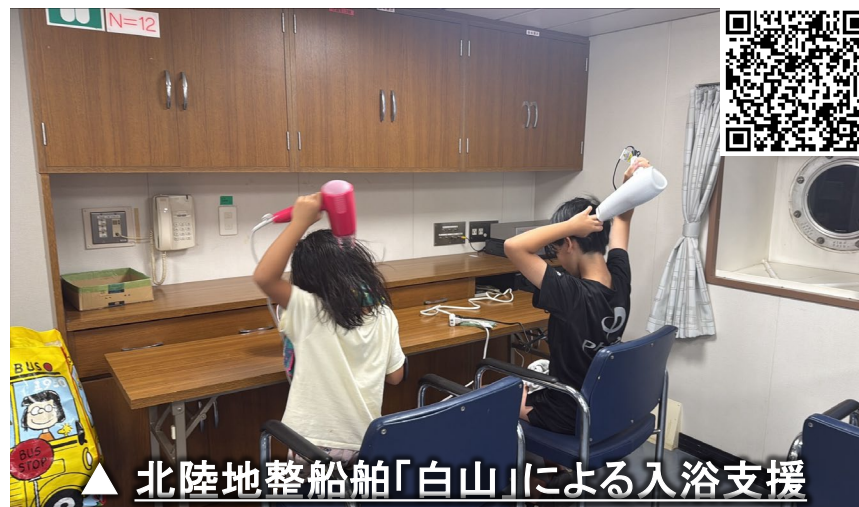
▲被災地各所における給水支援



▲氷川町設置の可搬式浄水設備



▲海洋環境整備船「海輝(かいき)」「海煌(かいこう)」によるドライブスルー方式での給水支援



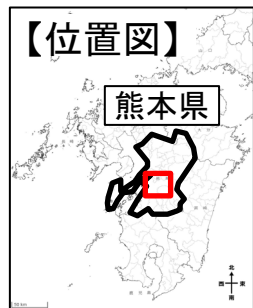
▲北陸地整船舶「白山」による入浴支援



4.被災地・自治体支援（防災用コンテナ型トイレ派遣）

○被災地支援として、上下水道等、公共インフラの機能が停止した地域のトイレ環境改善のため、7月31日から国が所有する「防災用コンテナ型トイレ」15基（近畿：6、四国：4、中国：1、九州：4）を被災地へ派遣

【位置図】



派遣先(8基)

【道の駅】

①道の駅「ゆふいん」:九州地整	⇒ 美里町(美里町カントリーパーク)
②道の駅「あぐり窪川」:四国地整	⇒ 氷川町(竜北グラウンド)
③道の駅「掛合の里」:中国地整	⇒ 氷川町(竜北グラウンド)
④道の駅「都城NIQLL」:九州地整	⇒ 氷川町(氷川町伝承館)
⑤道の駅「うきは」:九州地整	⇒ 八代市(八代市鏡支所)
⑥道の駅「シーサイド高浜」:近畿地整	⇒ 氷川町(道の駅「竜北」)
⑦道の駅「みやま」:福岡県	⇒ 氷川町(屋内ゲートボール駐車場)
⑧道の駅「たるみずはまびら」:九州地整	⇒ 宇城市(小川町総合文化センター)

追加派遣先(8基)

【道の駅】

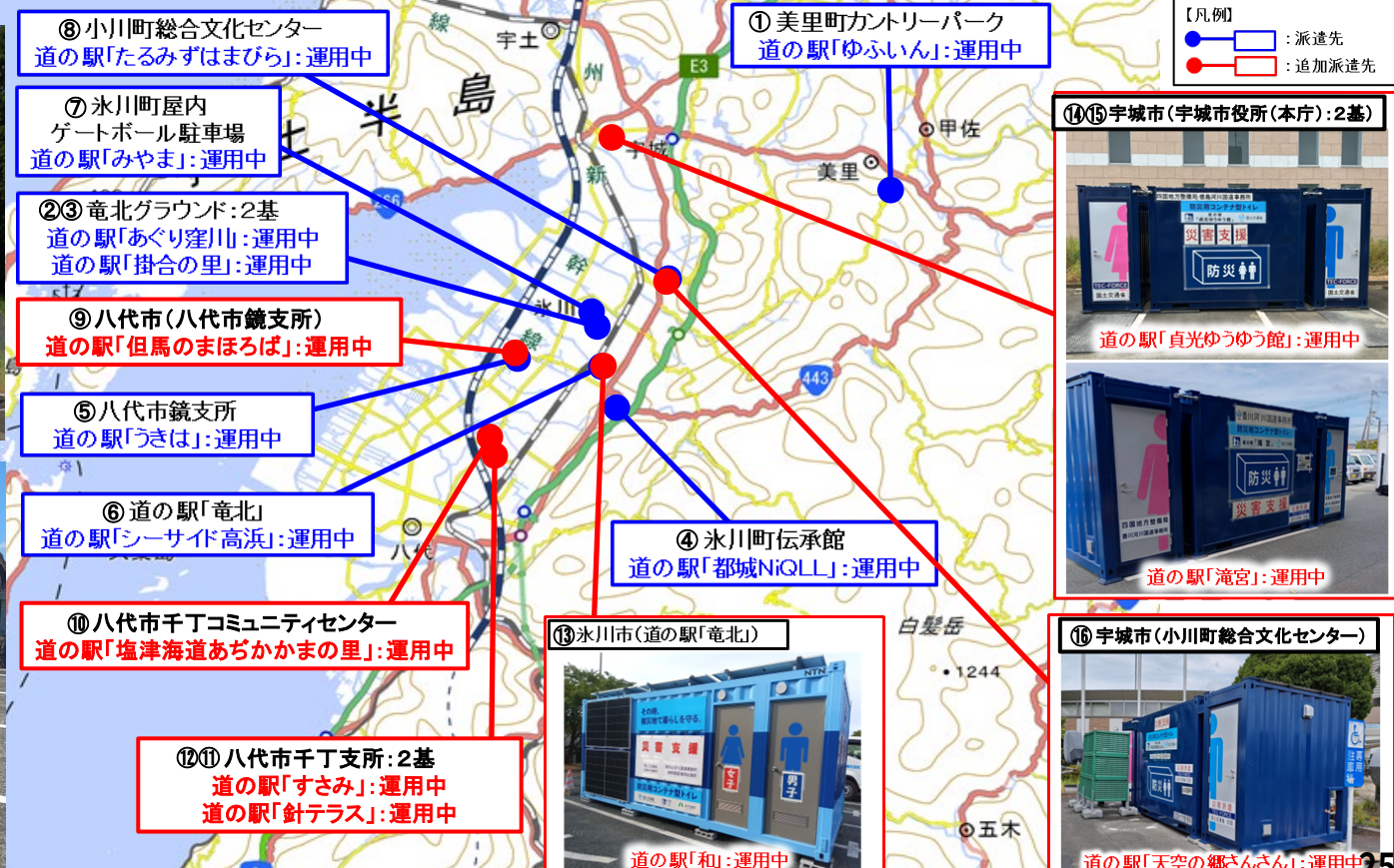
⑨道の駅「但馬のまほろば」:近畿地整	⇒ 八代市(八代市鏡支所)
⑩道の駅「塩津海道あぢかかまの里」:近畿地整	⇒ 八代市(八代市千丁コミュニティセンター)
⑪道の駅「針テラス」:近畿地整	⇒ 八代市(八代市千丁支所)
⑫道の駅「すさみ」:近畿地整	⇒ 八代市(八代市千丁支所)
⑬道の駅「和」:近畿地整	⇒ 氷川町(道の駅「竜北」)
⑭道の駅「貞光ゆうゆう館」:四国地整	⇒ 宇城市(宇城市役所(本庁))
⑮道の駅「滝宮」:四国地整	⇒ 宇城市(宇城市役所(本庁))
⑯道の駅「天空の郷さんさん」:四国地整	⇒ 宇城市(小川町総合文化センター)



▲「道の駅うきは(福岡)」からコンテナトイレ支援

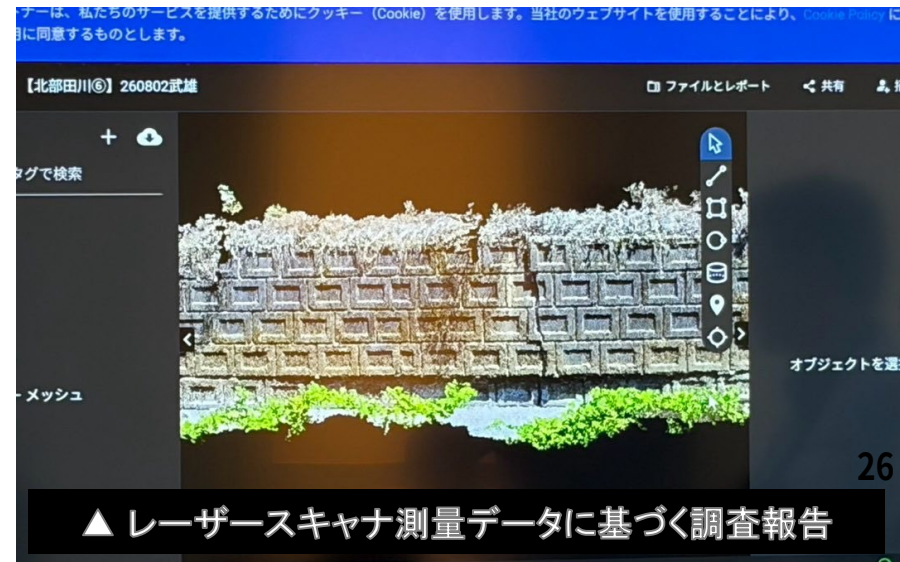


▲八代市鏡支所の配備・活用状況



4.被災地・自治体支援（スターリンク、DX機材派遣）

- 回線業者の通信基地局が停電や被災したことにより広範囲に通信障害が発生。宇城市、美里町にスターリンクを設置し、通信状況の改善支援を実施。
- 360度カメラ、レーザースキャナ測量等のDX機材を用いて早く、広く、分かりやすく被災状況を報告。



5.建設業界の活躍（飲料水やブルーシート等の支援）

○ 7月31日から、自治体からの支援要請に対し、「九州地方整備局」と「日本建設業連合会九州支部」との災害協定に基づき、支援物資として、飲料水約8,500本を支援。また、風雨対策でブルーシートや土のうについても支援。さらに「日本埋立浚渫協会九州支部」と「熊本県港湾建設協会」が災害協定に基づき、迅速に現地入りし、飲料水や食料等の支援物資を避難所等へ運搬・搬入などを実施。



5.建設業界の活躍（24時間体制による復旧作業）

○地域の建設業者は、被災地域の一刻も早い復旧のため、現場気温38度を超える過酷な現場環境の中で復旧作業に全力対応。



▲日奈久ICの路面の舗装補修



▲24時間体制による球磨川の緊急復旧工事



▲協力会社の皆様と作業内容等の確認



▲こまめな水分・塩分補給など体調管理に留意

6.SNS等による情報発信

- 九州地方整備局では、ホームページに特設ページを開設、またSNS(X(旧:Twitter))を活用し、復旧活動の状況や道路情報等を発信。

国土交通省 九州地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Regional Development Bureau

トップページ 防災に関する情報 私たちの仕事 地域・まちづくり 各種相談窓口 事業者の方へ 採用情報 管内事務所

九州地方整備局「非常体制」発令

明日を想像し、未来を創造する。

記者発表

HPに特設ページを開設

災害・復旧情報

- 令和8年熊本地震の対応
- 防災に関する情報はこちら
- 協力業者等の活動状況はこちら

TEC-FORCE

に関する情報はこちら

国土交通省九州地方整備局
@mlit_Kyushu

【生活と支援をつなぐ道路を確保】

#令和8年熊本地震 で被災した国道3号（八代郡氷川町）を緊急復旧し、一晩で通行可能となりました。

地域の皆さまの移動や支援活動を支えるため、引き続き復旧に取り組みます。

午後11:18・2026年7月29日・128.8万 件の表示

116 4,417 1.4万 398

△「緊急復旧」したことをXにて情報発信

一晩での復旧が関心呼び、建設業界の活躍を広く拡散

国土交通省八代河川国道事務所
@mlit_yatsushiro

【#球磨川 右岸6k200付近 緊急復旧工事】

職員と施工業者の方々で現場です。早期復旧に向け24時間体制で最優先に努めます。

#令和8年熊本地震 #八代河川

国土交通省八代河川国道事務所
@mlit_yatsushiro

【#球磨川 左岸8k540付近 緊急復旧工事】

復旧工事は着実に進捗しています。24時間体制で昼夜を問わず作業を継続し、地域の安心と安全を一日も早く取り戻すため、関係者が一丸となって全力で復旧に取り組んでいます。引き続き着実に工事を進めてまいります。

#令和8年熊本地震 #復旧 #八代

▲24時間体制での応急復旧を発信

台風も近づいていたことから、感謝の声が多く寄せられた

毎日仕事で利用する道なので迅速に復旧していただき本当に感謝しています。（X投稿より）

暑いこの季節に昼夜を問わず復旧に携わる全ての方に感謝です。（X投稿より）

令和8年熊本地震 通れるマップ

・2026年8月5日13時00分時点の最新の情報を掲載しています。掲載している情報については後日情報を修正する場合があります。予めご了承ください。

通行規制中で、緊急車両が通行可能な区間の詳細はこちらをご参照ください。

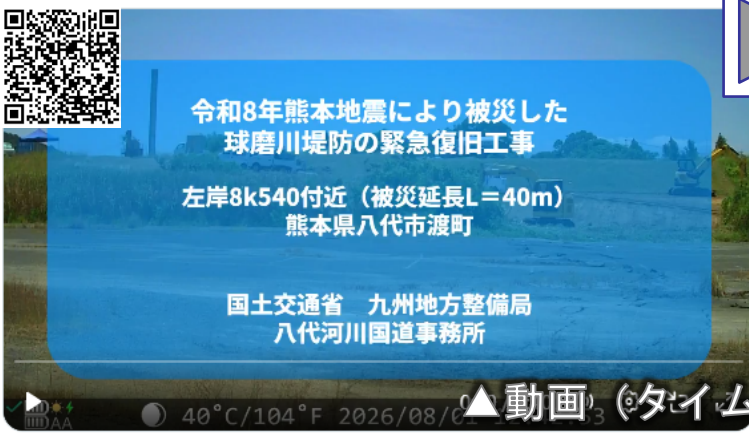
△被災地周辺の「通れるマップ」をHPで公開

6.SNS等による情報発信

- SNS投稿時は動画(タイムラプス等)を活用し分かりやすく工事のスピード感や状況を発信。
- 支援物資の情報発信を行い、関係省庁の投稿についてもりポストで拡散し、支援情報の展開を補助。

国土交通省八代河川国道事務所
@mlit_yatsushiro

#令和8年熊本地震 で被災した #球磨川 左岸8k540付近の堤防の緊急復旧工事が完了しました。
工事開始から完了までの様子をショート動画で公開します。
#復旧 の最前線をぜひご覧ください。
引き続き、一日も早い復旧・復興に向けて取り組んでまいります。
#八代



▲動画(タイムラプス)を活用し現場状況を発信



▲被災状況だけではなく支援物資関係についても発信
(コンテナトイレ・給水車・仮設資材・災対車等)

7.金子国土交通大臣による視察

○8月8日から9日かけて金子国土交通大臣が被災後2度目となる訪問で、令和8年熊本地震の被災箇所確認、被災自治体である八代市、氷川町、宇土市、宇城市、美里町、甲佐町を訪問し各首長と意見交換を行いました。
○熊本県庁において、熊本県知事とも意見交換を行いました。その後、現地対策本部に訪問し、激励を行いました。

■視察状況等



▲八代JCT被災箇所



▲球磨川堤防被災箇所



▲八代港被災箇所



▲横江大橋



▲氷川町災害支援状況(浄水装置)



▲仮設住宅建設箇所



▲熊本県庁 意見交換



▲現地対策本部激励

7.金子国土交通大臣による視察

- 令和8年8月22日から23日にかけて、金子国土交通大臣が、令和8年熊本地震による被災現場の3度目の視察を行うとともに、熊本県知事と意見交換を行いました。
- 宿泊業・旅行業、水道工事や建設業の関係団体の方々とも意見交換を行いました。

■視察状況等



現地対策本部激励



現地対策本部による被災状況説明



井戸調査



水道被災現場



応急仮設住宅



熊本県管工事業組合連合会 意見交換



建設業協会八代支部 意見交換



建設業協会宇城支部 意見交換